

ことうら議会だより

2026年5月1日発行 第88号



いさいベース、新たな門出

旧以西小学校は、会議や調理もでき、各種イベントに使用できる地域交流拠点「いさいベース」として生まれ変わった。

トピックス

- ・ 定例会、臨時会…………… P 2～6
予算案を巡り討論白熱
- ・ 委員会報告…………… P 7～8
- ・ 一般質問…………… P 9～17
- ・ 特集…………… P 18～19
新体制スタート



3月
定例会

『未来への投資』が『説明』

3月定例会は3月4日から25日まで開かれた。本会議では条例11件、令和7年度

議案第27号 令和8年度琴浦町一般会計予算

3月定例会最終日、大平議員と金光議員の2名が、議案第27号令和8年度琴浦町一般会計予算に対し、喫煙スペース整備工事費を減額する修正案を提出した。修正案は否決であったため、原案を諮り、賛成多数で可決となった。

討 論

原案に賛成

小椋憲 議員

各種事業について、地域や自治会からの要望・課題（インフラ整備や教育環境の強化など）が予算化されたことを「将来の地域社会にとって大きな意義を持つ」と評価する。

小椋正 議員

長年の懸案だった東桜ヶ丘ブロック塀撤去新設工事について、住民の生命と安全を守るために放置できない事案であり、予算化されたことを評価する。子育て・給食の無償化やデジタル化、中小企業支援、防災対策など、住民の「安全・安心」を軸とした本予算案に賛成する。

小倉 議員

喫煙スペースについて、役場敷地内の決まった場所で管理する方が、周辺環境の美化と安全を守れるのでは。喫煙者と非喫煙者との共生という観点からも原案に賛成する。

原案に反対・修正案に反対

田中 議員

東桜ヶ丘ブロック塀事業について、撤去は必要だが、総額2.5億円のうち仮設工事に約1億円かかるなど、費用が妥当であるかどうか見直すべき。

谷田 議員

自治体は禁煙教室、禁煙教育、禁煙サポートをしていかなければならない。修正案が喫煙スペースを認めないというものに留まっているので反対。

押本 議員

東伯文化センター児童館のエアコン工事は、総額760万円の内、設計等に385万円（5割超）を要している。この金額がかかることを町民に説明できない。

川上 議員

ワイナリー事業の宣伝や開発などは企業が自ら努力すべきで、町が過剰に支援すべきでない。分庁舎ZEB化は個別施設計画に含まれておらず、将来の修繕費や更新財源の提案が不十分である。

不足』が! 予算案を巡り討論白熱!!

補正予算6件、令和8年度一般会計当初予算(総額148億5300万円)などを可決。

修正案に賛成

大平 議員

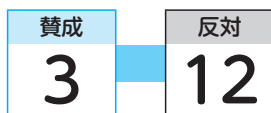
役場への喫煙所設置には反対の立場から修正案を支持する。

金光 議員

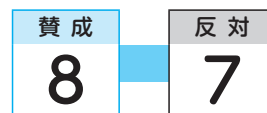
健康増進を推進すべき行政が、新たに喫煙環境を整備することに疑問がある。予算全体を否定するのではなく、説明が不十分な個別事業を適切に見直すための妥当な修正案に賛成。

採決

修正案についての
採決の結果



原案についての
採決の結果



修正案が否決と
なったため

「賛成・反対ってどう決まるの? 図でわかる採決のしくみ」



議員提出議案第5号 議案第27号令和8年度琴浦町一般会計予算に対する附帯決議

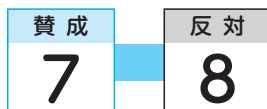
賛成少数により否決

討論

反対

小椋憲 議員

提案理由には理解できる部分もあるが、執行部はこれを真摯に受け止め、その通り進める覚悟を示している。また、月例報告会を通じて入札結果の報告等随時行われており、議会への透明性は確保されている。既存の枠組みの中で十分に追及・確認が可能であるため、改めて附帯決議をする必要はないと判断する。



議案第42号 令和8年度琴浦町下水道事業会計予算

賛成多数により可決

討 論

反 対

川本 議員

ウォーターPPP導入関連予算に反対。民間委託した浜松市では下水道料金が下がらなかった。さらに、北栄町では報告済みにもかかわらず、本町では議会への事前説明が一切なく、説明不足と議会軽視の観点からも反対する。



議案第53号 副町長の選任につき同意を求めることについて

同意

副町長氏名 村上 隆史（むらかみ たかふみ）

任期 令和8年4月1日～令和12年3月31日

8年陳情第3号 訴訟事務の適正化を求める陳情

賛成多数により趣旨採択

討 論

採 択

谷田 議員

陳情者は、町からの一方的な訴訟により住み慣れた地域で安心して暮らすことができないため、具体的な対策を講じてほしいと訴えている。今後新たに発生し得る滞納整理について、議会として真摯に議論し対応していくべき。



請願・陳情

番号	件名	提出者	付託委員会	委員会の意見	本会議採決結果
8年請願第1号	政府に所得補償（直接支払い）制度の実現を求める請願書	鳥取県農民運動連合会 会長 雑賀 敏之 (西伯郡南部町)	総務産業	採択	採択
8年陳情第1号	非核三原則の堅持を求める意見書の提出について（陳情）	足羽 佑太 (鳥取県倉吉市)	総務産業	採択	採択
8年陳情第2号	東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	浜田 聡（前参議院議員） (東京都葛飾区)	総務産業	不採択	不採択
8年陳情第3号	訴訟事務の適正化を求める陳情	岩本 良子 (鳥取県琴浦町)	総務産業	趣旨採択	趣旨採択

賛否が分かれた議案等の起立採決による審議の結果

議案等	審議結果	議員																		
		賛成	反対	渡辺 一匡	小倉 典子	田口 友香	中原 大輔	米田 靖生	川上 強志	金光 敦	小椋 憲浩	谷田 順子	田中 肇	川本 善孝	押本 昌幸	大平 高志	小椋 正和	桑本 始	前田 智章	
臨時会 監査同意について	否決	6	8	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	除	議	
定例会	8年陳情第3号訴訟事務の適正化を求める陳情	趣旨採択	10	5	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	議
	令和8年度琴浦町一般会計予算	可決	8	7	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	議	
	議案第27号令和8年度一般会計予算に対する附帯決議（議員提出議案第5号）	否決	7	8	×	×	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×	×	議	
	令和8年度琴浦町下水道事業会計予算	可決	10	5	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	議	

この表に掲載していない議案は全会一致で可決、請願・陳情は全会一致で採択となった。

○=賛成・採択 ×=反対 欠=欠席 議=議長 退=退席 除=除斥

2月臨時会（2月5日）

物価高騰対策交付金事業追加に伴う補正予算など、9議案について全会一致で承認・可決した。

2月臨時会（2月20日）

選挙後初の臨時会において、議長、副議長、各委員などを選出した。

議案第9号 監査委員の任命について

賛成少数により不同意



議案第10号 監査委員の任命について

賛成多数により同意

議員選出監査委員 押本昌幸

委員会構成

令和8年3月5日時点

委員会名（定数）〔所管〕	氏名	◎…委員長	○…副委員長	
総務産業常任委員会（8人） 〔総務課・企画政策課・商工観光課・税務課・出納室・農林水産課・建設住宅課・上下水道課・農業委員会・議会事務局〕	◎大平 高志 押本 昌幸	○田口 友香 金光 敦	◎桑本 始 米田 靖生	○小椋 正和 渡辺 一匡
教育民生常任委員会（8人） 〔子育て応援課・福祉あんしん課・すこやか健康課・町民生活課・教育委員会〕	◎谷田 順子 田中 肇	○川上 強志 小椋 憲浩	◎前田 智章 中原 大輔	○川本 善孝 小倉 典子
議会広報常任委員会（6人）	◎米田 靖生 田口 友香	○渡辺 一匡 小倉 典子	◎川上 強志	○中原 大輔
予算・決算審査特別委員会（16人）	◎金光 敦	○中原 大輔	以下全議員	
議会運営委員会（6人）	◎小椋 正和 小椋 憲浩	○田中 肇 米田 靖生	◎大平 高志	○谷田 順子



委員会の報告



教育民生常任委員会 委員長 谷田 順子

3月18日に委員会を開催し、各課からの報告事項の説明を受け審査を行った。
各課からの報告事項では、予算審査にもつながる「分庁舎のZEB化」や下水道処理に伴う「ウォーターPPP」に関する報告に質疑が集中した。質疑の中で初めて明らかになった内容もあり、事前に十分な説明がなされる必要を感じた。

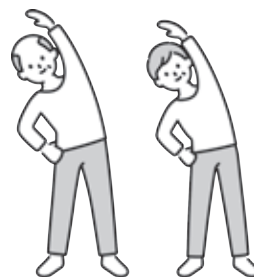
《質疑応答》

〈公共施設〉

- Q** 赤碕地域コミュニティセンターの改修事業を、高額な予算である「ZEB化改修事業」で行う理由は。
- A** 分庁舎は経年劣化が著しく、改修の時期に来ており、経費を一番抑えた方法を選んだ。「ZEB化事業」で行うと、3,400万円余り町の負担が多くなるが、電気料金等の削減により12.6年で回収出来る見込みがある。
- Q** 総合体育館下の駐車場トイレを廃止するとのことだが、根拠は何か。イベントや避難所など、必要性はあると思うが。
- A** 利用者が少ないことと、漏電があり修理が高額になるため、廃止すると説明した。その後漏電は高額であっても修繕が必要となったため、トイレについては再検討する。

〈福祉〉

- Q** 介護予防日常生活ニーズ調査の目的は、調査結果を基に町の施策の評価・分析をすることだと思うが、所感はどうか。
- A** 高齢者の一人暮らしや夫婦暮らしの割合が増えている。家族があることを前提に作られた制度について今後は考えていかなければならない。



総務産業常任委員会 委員長 大平 高志

3月23日に委員会を開催し、各課から説明を受け審査を行った。委員会に付託された8年請願第1号「政府に所得補償制度の実現を求める請願書」及び8年陳情第1号「非核三原則の堅持を求める意見書の提出について（陳情）」は採択。8年陳情第2号「政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情」は不採択。8年陳情第3号「訴訟事務の適正化を求める陳情」は趣旨採択とした。

《質疑応答》

〈産業振興〉

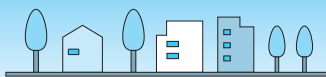
- Q** 琴浦産のワインを名乗る上で条件というものがあるか。
- A** 琴浦町で採れたブドウが85%入っていれば、琴浦産ワインとなる。
- Q** 漁協について、販売方法、飲食事業、ふるさと納税、漁業に対する支援は非常に不十分だと思うが。
- A** 漁船や設備、漁具等に関しては、引き続き支援は行っている。経営改善の内容をここに挙げさせていただいた。

〈行政放送〉

- Q** LINEの登録が約5,000人。行政無線だけに頼らず、LINEに移行していくプランは。
- A** イベント等はLINEや、インスタグラムの方で重点的に発信をしていきたい。



(ワイン用ブドウ畑)



委員会の報告



予算・決算審査特別委員会 委員長 金光 敦

議案第27号「令和8年度琴浦町一般会計予算」から議案第42号「令和8年度琴浦町下水道事業会計予算」までの計16議案の付託を受け、3月13、16、17、23日の4日間、町提出の「事業説明書」に基づき関係各課からの聞き取りを行い審査した。

その結果、一般会計予算と下水道事業会計予算については賛成多数で可決、議案第28号から議案第41号までの各会計予算は全会一致で可決した。

一般会計予算についての質疑

- Q** 喫煙スペースの設置は、住民の方からの要望か。
A 直接住民からの要望はないが、分煙を図っていく。

- Q** ウォーターPPPは国の方針があるにしても、地域の実情を見ながら進めるべきではないか。
A 今後の検討の中でも、地域の実情をくみ取ってもらえるよう働きかけていきたい。

- Q** 分庁舎のZEB化は急がず、安全に直結する改修を優先し他は先送りするメリハリが必要ではないか。
A 分庁舎は老朽化が進んでおり、改修のタイミングで省エネ化・長寿命化をあわせて進める。

- Q** 東桜ヶ丘ブロック塀工事で仮設費が大きくなっている理由は。
A 民地側に影響を出さない仮設と家畜改良センター側の衛生区域を区切る仮設が必要となったため。

主な賛成討論

個別事業には疑問も残るが、コロナ禍や大型事業の影響で後回しとなっていた地域課題に、今回ようやく予算が向けられた点を評価する。厳しい財政の中でも、各地域の要望に応え、町民の暮らしを守ろうとする予算として総合的に賛成する。

主な反対討論

- 喫煙スペース整備は、公共施設として健康増進と受動喫煙防止を進めるべき町の姿勢に逆行する。利用者や必要性、緊急性の説明も不十分で、町民・職員の健康を害するおそれのある設備に公費を充てることは妥当でないとして反対。
- ウォーターPPPは、議会への説明や合意形成が不十分なまま計画先行で進められており、将来の料金や財政負担の比較資料も示されていない。長期にわたる広域化・民間活用には慎重な検討が必要であり、現段階での予算計上には反対。
- ZEB化そのものに反対するのではなく、分庁舎を今後も維持するのかという根本議論がないまま、人口減少下で多額的设计費を投じるのは時期尚早である。住民・議会との議論を深めた上で、今年度予算は見送るべき。
- 東桜ヶ丘のブロック塀撤去自体の必要性は認めるが、約2億7千万円という高額な事業費、とりわけ多額な仮設工事費の大きさや工法の妥当性について再検討が必要である。緊急性や費用対効果を十分に見極め、より適切な方法を検討すべき。

ここが聞きたい

一般質問

Q&A

一般質問とは、議員が、町長・教育長・農業委員会会長・選挙管理委員会委員長・監査委員などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて問うもの。

	質問議員	質問事項	掲載ページ	録画映像 QRコード
12月11日	通告1番 おぐら のりひろ 小椋 憲浩	1. 「琴浦町障がい福祉計画」について 2. スローショッピングの取り組みについて 3. 町有地の売却方針の状況について	10	
	通告2番 おおひら たかし 大平 高志	1. 地域活動の活性化について 2. 鳥獣対策について 3. 児童生徒の学習環境整備について	11	
	通告3番 かわもと よしたか 川本 善孝	1. 水産業の振興について 2. 景観資源の評価基準について	12	
	通告4番 たにだ じゅんこ 谷田 順子	1. 町長の政治姿勢について	13	
	通告5番 こくら のりこ 小倉 典子	1. 福祉避難所について 2. 障がいのある子どもたちのための個別避難計画について 3. 障がいのある子どもたちのための各種避難所について 4. 災害時の町の対応について	14	
12月12日	通告6番 かわかみ つよし 川上 強志	1. 町内各小中学校で自慢できる取組内容と課題について 2. 今後4年間を通して全集落に出向き、直接町民と対話することについて	15	
	通告7番 おしもと まさゆき 押本 昌幸	1. 「福本カラー」に期待（N紙）から 2. 「人が集まる施設拡充へ会議や商店誘致に注力」とある（N紙）	16	
	通告8番 おぐら まさかず 小椋 正和	1. 人を大切にする町づくりについて 2. 地域の輪を広げる町づくりについて 3. 輝く産業、経済の強化の町づくりについて 4. 壊さない環境、生かす施設について	17	

※青字は、本誌では省略



事項一覧



通告書

一般質問の録画映像を
YouTubeでご覧いただけ
るようになりました。



小椋 憲浩 議員



第8次障がい福祉計画、第4期障がい児福祉計画の方向性と取り組みは



障害の有無にかかわらず安心して生活できる共生社会の実現を目指し策定する 福本町長

質疑応答時間 (14回 (質問) 26分 + (答弁) 29分) (トータル) 55分



来年策定される、第8次障がい福祉計画、第4次障がい児福祉計画の方向性と取り組みについて

問 地域でこの取り組みが浸透して、関係者が安心しておられるか。

答 本計画は障がい福祉サービス等の提供体制の確保に関して必要な事項が定めてあり、障がいの有無にかかわらず誰もが安心して生活できる共生社会の実現を目指し策定・啓発しており、そのことを基本に総合的に支援している。

問 目標達成に関して関係機関との連携は円滑に行われているか。また数値に対して固執していないか。

答 国が定める基本指針に基づき関係機関と連携して取り組みを進めている。数値については目標だけでなく、計画の評価、課題についても言及しており、数値にはとらわれないが目安として必要だと思っている。

問 計画の成果や策定に関してPDCAサイクルは機能しているか。

答 どの事業においてもPDCAサイクルは必要であり、基本的には琴浦町障がい者地域自立支援協議会を設けており、その意見を聞きながら、その意見を基に次の計画、成果目標や指導体制を設置している。

スローショッピングの取り組みについて

問 本町の高齢者、障がいのある方などが、自分のペースで買い物出来るよう、付き添いボランティアによる支援や、専用レジの設置などを行う取り組みで、誰もが尊厳をもって買い物出来る環境を提供できないか。

答 高齢者になるとゆったりとした環境で買物をしたいというのはかなりある。今、鳥取県が実証実験をされておられるが、実現可能かと言うと難しいところだ。店舗側のほうで一緒にやろうという声が上がれば、町の方もその体制を組んでいきたいと思っている。

福本町政2期目としての町有地の売却方針は

問 過去の実績を踏まえた、今後4年間の町有地の売却方針は。

答 基本的にはサウンディング調査をして、売却もしくは譲渡。貸与、賃借などの提案をしたが、すべてが売却に至っていない。その理由として①自立した運営体制が見込めない。②近隣住民との騒音問題③対象物への進入路が条件に合わない。④物価高騰による見合わせ。が主な要因だ。またひとつ解体するにも億単位の費用が見込まれ、かなり難しい状況ではあるが、売却は進めて行く所存である。



交流の派遣先は中華民国か



台湾の台中市です
実務関係を維持している

福本町長
河原教育長



大平 高志 議員

質疑応答時間 (47回 (質問) 30分 + (答弁) 57分) 87分



問 鳥獣の目撃件数や被害状況はどうか。

答 令和7年は猿が7件、鹿が2件、猪が4件、熊らしき生物が1件で令和6年より2件増えた。被害の状況は共済の報告で昨年度が24件で180万円程度。
福本町長

問 熊らしきものが1件ということだが、各機関への対応は。

答 県、警察、町の施設、小学校やこども園に情報提供を行っている。
福本町長

問 鳥獣対策には防護柵や狩猟などあるが具体的内容は。

答 電気柵やワイヤーメッシュ等の補助を持っている。捕獲については猟期以外は、主に猟友会に体制を組んでいただいている。
福本町長

問 駆除後の処理状況はどうなっている。

答 主に埋設で若干、食肉に回される。
福本町長

問 県外では、他の動物を呼び寄せると問題になっているそうだが。

答 その問題を防ぐためその場に放置ではなく埋設している。
福本町長

問 緊急銃猟について、町が判断すると決まった。内部体制はどうなっている。

答 庁内の体制構築は、総務・農林水産課の方で対応。関係する猟友会や警察、鉄道会社などと協議している。
福本町長

問 制度としてはあるがルールは出来ていない。これは空白期間になると思うが。

答 町は対応をしていきたい。
福本町長

問 竹島が実効支配されている経緯を知っているか。

答 深掘りしていない。
竹島を韓国は不法に占拠しており、日本は抗議を続けている。
福本町長
河原教育長

問 李登輝総統時代から台湾の本土化を進めているが、交流先は中華民国の中学校か。

答 交流先は台湾の台中市の中学校である。
福本町長

問 行かせている先が台湾ではなく中国という認識か。

答 台湾とは正式な外交関係はなく民間ベースの実務関係を維持している。
河原教育長

問 ヤングケアラーは自身の立場を理解する土壌があって問題が表に出ると思うが。

答 親の手助けという認識で自覚がないのが課題だ。
河原教育長

問 家族全体を支援する必要があると思うが。

答 学校内で発見できること、家族を通してわかることがある。町も要保護児童対策地域協議会を設置し対策している。
福本町長



川本 善孝 議員



我々の努力で藻場の回復は出来るのでは



磯焼けにはウニの食害もある
ウニの養殖実験を今年から始める 福本町長

質疑応答時間 (10回 (質問) 24分 + (答弁) 26分) (トータル) 50分



水産業の振興策

問 漁獲はR7年どうだったか、R8年の見通しはどうか

R5・6年は不漁で、7年はさらに悪かった。8年も厳しいと聞いているが。

答 R7年は非常に少なかったと聞いている

R8は、寒い時期に獲れるハマチが、以前よりあまり獲れていない状況だ。

問 クロマグロの県内漁獲枠の拡大を希望する意見が多いが

海岸から50m先にクロマグロがおり、夏にイカを食べてしまう。全国沿岸漁民連絡協議会もクロマグロの漁獲枠を増やすよう署名運動をしているが。

答 県内の調整はない

太平洋側との調整で、鳥取県全体が漁獲枠をもらってくる必要がある。

問 “磯焼け”の対策は

農業と同じで、肥料をまかないと藻場は再生しない。北海道増毛町は藻場再生に毎年300万円を使っている。北海道では“磯焼け会議”もある。我々の努力で回復出来るのではないか。

答 ウニの駆除から、今年はウニの養殖実験を開始する

藻場の群落として植付けを行って、海岸部は磯焼け状態だが、奥の方は成果をあげているところもある。いま磯焼けの所はウニの食害がある。ウニの駆除をしているが、この度、ブロッコリーや魚のエサを使ってウニの養殖の実証実験をすることになった。

景観資源の評価基準

問 “お滝さん”（奥岩本）の景観資源としての評価は

広域農道からの入口に標識もなく、道路には倒木や大きな石もあるが。

答 地域の人、関係者の人が管理していただくことが第一条件

自然景観と言いながら、人の手がかかっているものが観光としてすばらしいと思う。岡山の棚田に行ったが、農家だけではなく、いろんな人の手が入っていてすごい観光地になっていた。



7mの直瀑“お滝さん”（奥岩本）



町長の政治姿勢について



人が集まる 「居心地がいいまちづくり」 福本町長



谷田 順子 議員

質疑応答時間 (22回 (質問) 30分 + (答弁) 64分) (トータル) 94分



問 「人を大切に」をどう進める

町長が、1期目に続き2期目も「人を大切に」というテーマで取り組むにあたって、掲げた次の項目についての課題、到達目標、具体的施策について伺う。

- (1) 子どもたちの可能性を伸ばす機会の提供
- (2) 将来を見据えた教育環境の質の充実
- (3) 子どもや高齢者の居場所
- (4) 誰一人取り残すことのないセーフティネットの充実
- (5) 住んでよかったと実感できるまち
- (6) 人権尊重は命を守ること

公民館での地域の大人達との関わりを多く増やしていきたい。

高齢者に対しても地区公民館での取り組みが定着してきている。

- (4) 従来の支援では対応しきれないケースが顕在化してきているため、断らない包括的な支援体制整備が必要。
- (5) 手続きのデジタル化による住民の利便性の向上、住んでみたらやっぱり居心地がいい。そこを目指す。

答 町政全般にわたって取り組む

- (1) スポーツ選手などプロを目指したいという思いの子どもたちが増えているが、体育館の空調やプールの水温の問題など、他町と比較して環境的に良い状況ではない。

育てるにあたっては、人材も設備も不足しており改善していきたい。

- (2) 海外など自分の住む地域と違う所で、人と触れ合い、コミュニケーション能力を伸ばしていきたい。

そのための人材も設備も不足している。

公共施設の不備により、子どもたちが先を目指して個性を伸ばしたいと思っても、そういう環境にない状態を改善したい。

- (3) 各地区公民館を子どもが気軽に立ち寄れる場所として設定した。

- (6) 不当な偏見や差別、誹謗中傷は、直接手を下さなくても人を殺せる材料になり、命にかかわる事だと強く言っていきたい。

表面化しない差別事象に気づくためには、この社会にあるたくさんの人権課題を、たくさんの人に正しく理解し、認識して学んでいただき、実践していただくことが非常に大切になる。

職員の人権研修については、平日に開催された人権・同和教育推進協議会行政部会のシンポジウムには参加できないので、管理職が中心の参加になったが、職場内研修や小地域懇談会等に参加している。



小倉 典子 議員

問

- 1 福祉避難所（平岩記念会館）に、必要な人が安心して避難できるよう、事前の情報公開が必要では
- 2 個別避難計画の作成について、当事者家族への説明不足で「支援の空白」が生じている

答

- 1 混乱を防ぐため場所は非公開とする原則を維持
- 2 社協との「支え愛マップ作り」を通じた地域共助を軸に、民生委員と連携して本人同意に基づき作成を推進
福本町長

質疑応答時間 (30回 30分 + 55分) 85分



福祉避難所の拡充と情報公開の現状は

問 法改正により、要配慮者のために「福祉避難所」をあらかじめ指定・公示することが義務化された。町ホームページや防災マップ等に、平岩記念会館を明記し周知する予定は。

答 記載しない。混乱防止のため、誰でも勝手に行ける場所ではない運用としている。まずは一般避難所へ行き、そこから町が判断して（福祉避難所へ）移送する。

問 町内に福祉避難所が1ヶ所では不足。民間施設やホテル等との協定を増やし、受入れ枠を拡充すべきでは。

答 現在、デイサービスや特養など民間13施設と協定を結んでいる。ホテルは県外からのボランティアや支援スタッフの拠点としての役割も大きく、町民の避難先としては難しい。



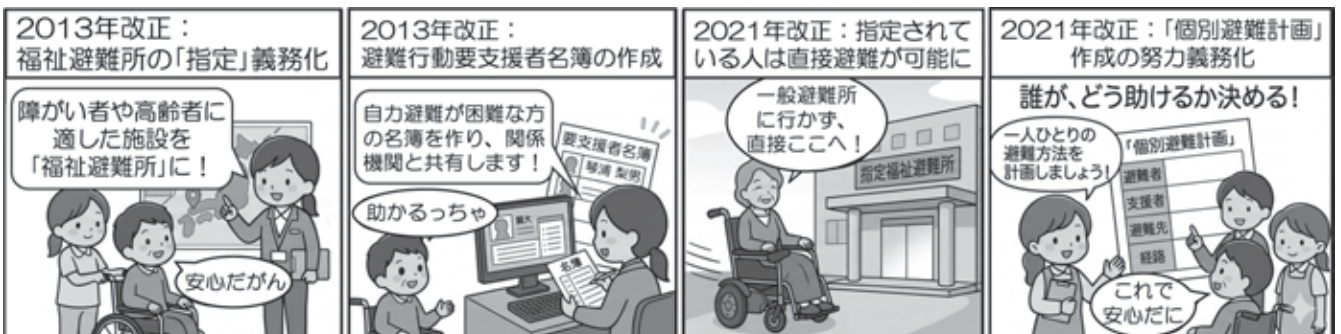
個別避難計画が必要な人たち：一人ひとりに合わせた準備を



災害弱者のための個別避難計画の進捗状況と今後の展望は

問 東日本大震災で障がい者の死亡率が健常者の約2倍に達した教訓から、個別避難計画の作成が各市町村の努力義務に。ただ、当事者家族への周知不足で「支援の空白」が生じている。子どもの場合、特性を把握している学校が就学時健診や面談の機会に個別避難計画の案内や説明をしては。

答 民生委員の紹介があれば対応する。個人情報管理の難しさから個別には周知していない。個別避難計画は各自自治会で協力して作ってもらいたい（共助）。学校単独で案内を進めるのは難しいが、町の防災担当部署と協議し、出来るのであれば対応する。



* 福祉避難所：高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児、難病患者など、一般の避難所での生活が困難な「要配慮者」とその家族が利用できる特別な施設



- 1 町内各小・中学校で自慢できる取組内容と課題について
- 2 今後4年間を通して、全集落に町長自らが出向き、町民と対話することについて



- 1 全ての学校にコミュニティ・スクールを導入し、地域と共同しながら教育活動に取り組んでいる 河原教育長
- 2 現実問題として、ほぼ不可能だと思っている要望のある集落には出向いていく 福本町長



川上 強志 議員

質疑応答時間 (8回 (質問) 15分 + (答弁) 21分) (トータル) 36分



特色的な取組内容について



地域の人と学校での経験や体験の場はありますか。



コミュニティ・スクールを導入し、地域の人との触れ合いを実現している。

また、聖郷小学校では、聖郷カフェを実施し、地域のおばあさんやおじいさんとの交流、昔遊びを一緒に楽しんだりしている。

また、算数の丸付けや、漢字の丸付けを地域のボランティアの人が授業に参加し、協力をしている。

また、ふるさと学習や琴浦MYスターの取組もしている。

河原教育長

集落に出向いて、対話する考えはないか



町長が自ら各集落に出向いて、町民と対話する考えはないか。



直接な話は、要望のある集落や、農業生産団体など、年間を通していろいろ対応している。

福本町長



現在の行政は、以前と違って住民との関係性は、良きパートナーとしての関係性が大切だと思うが、町長はどう思うか。



同じ思いだ。

福本町長

ボランティア時の保障はどうなっているか



学校でのボランティアの方のケガとかの保障はどうなっているか。



名簿を教育総務課で管理し、スポーツ保険に加入し対応している。

河原教育長



説明と対話とは違うものだと考えるがどうか。



言葉としては、違うものだと思っている。しかし、個人的な考えだと言って対話しても、町長としての発言として取られてしまう。

福本町長



そのように受け止められる場合もあると思うが、リスクを踏まえながらも、一歩前進して対話することが大事だと思う。

それが、一人ひとりを大切にすることだと思う。

そういう機会を自らが作っていただきたいと要望する。



押本 昌幸 議員



「町長は町のグランドデザインを示すことから始めるべきだろう」が、いかがか。



町民の皆さんは何をするのだということを求めているが、その根拠を示すべき、気分だけで物事は進められない 福本町長

質疑応答時間 (3回 (質問) (答弁) (トータル) 30分 + 23分) 53分



問 「町内には①少子高齢化②財政難③産業衰退④公共施設の老朽化など課題。(略) 閉塞感を打破する『変化』を求めた町民は多い」「町民に希望を持たせるために、福本氏は町のグランドデザインを示すことから始めるべきだろう。」(2026.1.26「N紙」)と私も思うがいかがか。

閉塞感①「少子高齢化」

年齢	聖郷	浦安	八橋	赤碕	船上	計
0歳	8	18	18	16	4	64
1歳	9	19	25	26	10	89
2歳	7	23	17	28	10	85
3歳	19	32	26	20	13	110
4歳	13	17	20	25	10	85
5歳	10	35	20	26	19	110
計	66	144	126	141	66	543

閉塞感②「財政難」

地方債残高 (千円)			
区分	令和6年度末現在高	令和7年度末現在高見込額	令和8年度末現在高見込額
合計	9,473,256	10,850,800	12,476,754

基金残高 (千円)			
区分	令和6年度末現在高	令和7年度末現在高見込額	令和8年度末現在高見込額
合計	3,569,162	3,653,351	2,958,235

閉塞感③産業衰退

①②は町資料より

最近の撤退企業



閉塞感④公共施設の老朽化

「琴浦町公共施設等総合管理計画」
(平成28年3月策定：令和4年3月一部改訂)
「琴浦町公共施設個別施設計画 (全139施設)」
(令和3年3月策定：令和4年3月一部改訂)

答 町民の皆さんは何をするのだということを求めているが、その根拠を示すべき、気分だけで物事は進められない

琴浦に関わった人が、一番活動しやすい、人の顔が見える環境が大事だと思う。人口対策では、産めよ増やせよではなく、本当にここに住んで良かったというものを作り上げないといけない。

製造業等については、鳥取、山陰側に事業所を設けるというのは、本当に至難の業で経費が掛かりすぎる。琴浦に根付く産業、例えば飲酒に関心のない方でも、そこをキーワードにして町づくりを進めようとする人がどんどん入り込んできている。人がこの町に訪れて、ここは良いところだな、景色だけじゃない、商店だけではない、人との会話に魅力があり、たぶん面白いと感じていると思う。若い人なら、ここで何かができるような思いをもっていると思う。

公共施設を単なる選択で縮小する、人が減ったからどこどこを減らすというだけではないものを作っていないと町は前に進めないと思う。



琴浦町公共施設等総合管理計画



琴浦町公共施設個別計画



押本一般質問提示資料 pdf.



**公約に示された四項目の具体的な
取り組みについて**



**それぞれの町づくりを施策に反映
し促進を図る**

福本町長



小椋 正和 議員

質疑応答時間 (23回 (質問) 30分 + (答弁) 58分) (トータル) 88分



人を大切にする

問 子供たちの可能性を伸ばす

未来を担う子供たちの成長と生活、学びを保障し、可能性を伸ばす機会を提供していくとは。

答 個別最適な学習環境の整備

グローバル社会へ対応した交流機会の創出や、個別最適な学習環境の整備等へ取り組む。

問 子供を産み育てやすい環境

子供や高齢者の居場所、子供を産み育てやすい環境、働く場所の確保に取り組まれるのか。

答 妊娠期からの切れ目ない支援

妊娠期からの切れ目ない総合的な支援、こども園での受け入れ、すべての人が働く環境の整備、ワーク・ライフ・バランスの推進、働きやすいという職場の確保の推進を図る。

問 だれ一人取り残さない支援は

誰もが不安なく安心して暮らせる地域づくり、生活困窮者支援、子供の貧困対策など、だれ一人取り残さないセーフティネットの充実対策は。

答 重層体制で取り組んでいる

支援が必要とされる相談件数は6年、7年継続を含めて98件と年々増加傾向にある。必要に応じて支援会議等を開き、役割分担や支援の方向性を明確化し、重層体制で取り組んでいる。

問 行政サービスで欠けていた面は

心身共に豊かでゆったりと居心地のいい町、住んで良かったと実感できる町となるよう、デジタル技術を拡充し、さらなる向上をめざすべき行政サービスとは。

答 対応が悪かった点について反省

デジタルを用いて、手続等の時間や場所の制限をなくすことで住民の利便性向上に努める。町づくり関連施策の推進においては、住民への説明・意見聴取をきめ細やかに行い、施策へ反映し、効果の促進を図る。

輝く産業、経済の強化

問 農地の適正区画検討は

農用地の適正区画においては、地権者のやる気が必要との考えであったが、その対応策は。

答 事業化へ向けた協議

農地の大区画化については、経営規模拡大の意向のある担い手農家を中心に事業化に向けた協議を行っている。

問 9号線沿線への企業の誘致は

9号線沿線での事業所の撤退が続いている中で、町の賑わいを取り戻すための企業の誘致は。

答 「食」に関する企業の誘致

雇用を守りながら、町の賑わいを取り戻していくため、「産業の誘致」については、飲食業等「食」に関する企業の誘致を考えている。

新体制スタート



田中 肇 (たなか はじめ)
2回 無所属 69歳

好きな言葉 ▶ 先義後利 (孟子)



押本 昌幸 (おしもと まさゆき)
3回 無所属 73歳

好きな言葉 ▶ オネスティ (Honesty)



小椋 正和 (おぐら まさかず)
7回 無所属 76歳

好きな言葉 ▶ 人生二度なし



金光 敦 (かねみつ あつし)
2回 無所属 42歳

好きな言葉 ▶ 公正

議長

前田 智章
(まえた ともあき)

9回 無所属 70歳

好きな言葉 ▶ 思い遣り



このたび、議員各位のご推挙をいただき、議長の要職に就任することになりました。

議員個々の意見を尊重しながら、「言論の府」として議会が円滑に運営されますよう努力する所存であります。

また、私の政治理念である、思いやりのある町政を実現するため、地域の課題に真摯に向き合い、安心して暮らせるまちを目指してまいります。



米田 靖生 (よねだ やすお)
1回 無所属 70歳

好きな言葉 ▶ 雲外蒼天、
ありがとう



田口 友香 (たぐち ゆか)
1回 無所属 45歳

好きな言葉 ▶ 日々感謝



渡辺 一匡 (わたなべ かずまさ)
1回 無所属 33歳

好きな言葉 ▶ 一期一会

令和8年2月20日、町議会議員選挙後初の臨時会が開かれ、
琴浦町議会の新しい体制がスタートしました。

任期：令和8年2月20日～令和12年2月19日

※議員氏名、
当選回数、
所属、年齢、
好きな言葉



桑本 始 (くわもと はじめ)

9回 無所属 75歳

好きな言葉 ▶ 農は国の基なり



大平 高志 (おおひら たかし)

4回 無所属 49歳

好きな言葉 ▶ 一隅を照らす



川本 善孝 (かわもと よしたか)

2回 日本共産党 70歳

好きな言葉 ▶ 存在奇蹟



副議長

小椋 憲浩

(おぐら のりひろ)

2回 無所属 64歳

好きな言葉 ▶ すべては町民のため



谷田 順子 (たにだ じゅんこ)

2回 無所属 69歳

好きな言葉 ▶ 初心を忘れず

このたび、副議長に選任され身が引き締まる思いであります。副議長として議長を補佐し、町民の声の橋渡し役、議会内の議論の調整役として努めてまいります。

また、地方議会の機能の役割を担い、地方自治の適切な運営を意識しながら、今後ますます琴浦町が発展するように取り組んでまいりたいと考えています。



川上 強志 (かわかみ つよし)

1回 無所属 71歳

好きな言葉 ▶ 留め置かまし大和魂



小倉 典子 (こくら のりこ)

1回 無所属 43歳

好きな言葉 ▶ 猪突猛進、琴浦を駆ける！



中原 大輔 (なかはら だいすけ)

1回 無所属 51歳

好きな言葉 ▶ 有言実行

町民の声

敬称略

障がい者の共同生活援助のグループホームの整備について

わが家の長男は、身体障がい・知的障がいがあります。小学校から支援学級に通い、中学・高校では地域の学校での受入れはできないとの事で、地域外の養護学校に通学しました。この時から地域の同級生との交流は無くなり、同級生の友達はほとんどなくなっていました。

学校を卒業し、現在は地元琴浦町の福祉作業所に約9年通所しています。1日6時間作業をして数万円を工賃としていただいています。本人は今後、自立した生活をしたという希望を持っています。

本人は運転免許をとれる状況ではないので、限られた行動範囲内で、障がい者グループホームがもっと整備されると本人の今後に新しい希望が持てると、親としては常々思いが募っています。グループホームへの入居を希望してもう何年も待機している状況です。

グループホームは障がいがある人が、専門スタッフの支援を受けながら、5～9人の少人数で家庭的な雰囲気の中、地域で共同生活を送る住宅型の介護施設です。自身の能力に応じて、日常生活上の家事などを行い、自立性を維持・向上させるグループホームが不足しているという事を感じている人が私の周りにはたくさんいらっしゃいます。

町施設や空き家の有効活用なども含めて、家庭的な雰囲気のグループホームが整備されるように切に希望しています。



やまもと のぶみ
山本 伸美

提供元 新日本海新聞社

一人ひとりの力が輝く町をめざして

障がい者就労支援の現場で、日々ご利用者様と関わる中で、それぞれが持たれる力や可能性の大きさを感じる場面が多くあります。障がいのある方は軽作業しかできないというイメージを持たれることがありますが、当事業所では病院内の清掃や草刈り、農作業、移動販売での接客など、さまざまな作業に取り組み、一人ひとりの得意な点や優れた点を生かしています。

公民館祭などのイベント参加や個人・事業所からの委託作業を通じて、地域との繋がり作りにも取り組んでいますが、当事業所の活動内容や障がいのある方への理解がまだまだ十分でないと感じています。地域との関わりが身近な琴浦町だからこそ、より多くの方に知っていただきたいです。

ご依頼いただく作業の時給金額についても、鳥取県の最低賃金に近づけることが今後の課題です。地域の理解が進み、適正な評価に繋がれば、ご利用者様にお支払いする工賃の向上へ結び付くと考えています。

ご利用者様一人ひとりの可能性がさらに広がり、力が発揮できる町になることを願っています。



いしだ ちはる
石田 千春

特定非営利活動法人
「東伯けんこう」

あとがき

これから4年間、新人議員6人で「議会だより」を編集することになりました。

出来る限りわかりやすく、親しみのある内容に努めていきたいと考えております。

町民の声も、紙面のスペースが許す限り、たくさん掲載したいと思います。

ご意見、ご要望があれば議会事務局までご連絡ください。(強)



議会広報常任委員会

委員長 米田 靖生
副委員長 渡辺 一匡
委員 川上 強志
委員 中原 大輔
委員 田口 友香
委員 小倉 典子

題字 山田 美鈴氏